

福祉サービス第三者評価結果

| | |
|------|------------------|
| 事業所名 | 特別養護老人ホーム 豊寿苑 |
|------|------------------|

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

平成31年4月23日

③事業者情報

| | |
|---|-------------|
| 名称：特別養護老人ホーム豊寿苑 | 種別：高齢特養 |
| 代表者氏名：施設長 染矢芳樹 | 定員（利用人数）97名 |
| 所在地：〒876-0111 佐伯市弥生大字井崎 1765 番地 TEL：0972-46-2226 | |

④総評

◇評価の高い点

○【管理者のリーダーシップが発揮されている。】

施設で組織している7つの委員会に参加し、アドバイザーとして苑長も参加している。苑長は福祉サービス質の向上について、職員の意見を反映するため、苑長室の扉は常に開いて職員の意見・相談等を受ける取組を行っている。実施するサービスの現状について毎年12月に個別面接実施。1月にサービスの質の現状について、評価・分析を行っている。市役所担当課とは毎月定期的に協議の場を持って情報を共有している。

○【適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。】

利用者一人ひとりの福祉サービス実施計画は、ケアマネジャーが中心となり、アセスメント情報を収集し、個別のニーズを把握し策定している。ケアカンファレンスを行ない適切な時期・方法で課題点を明確にし、見直しの介護計画書を作成している。

【利用者への快適性への配慮。】

施設の環境設備は、外部業者により点検整備が行われている。清潔で安全な環境に整備されたうえで、利用者が安心して快適に過ごせるよう、業者に任せきりではなく、職員も整理整頓の支援を行っている。

○【介護職員等による喀痰吸引・経管栄養。】

主治医の指示により、喀痰吸引の資格者・看護師により吸引を実施している。喀痰吸引の資格を職員の約半数が有しており、安全の面についても、喀痰吸引等事業安全委員会を月1度開催し、安全管理体制が構築されている。

○【家族等との連携。】

定期的に利用者の状況などを報告し、カンファレンスを実施している。また、状態変化時やケアプランの変更時は、説明を行ったうえで家族の意向などを話し合い、同意をもらっている。遠方の家族が宿泊できる部屋の準備もある。

◇改善を求められる点

○【中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。】

理念・スローガンにもとづく福祉サービス実施に向けて、長期的な指定管理の受託を願う。

○【長・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。】

理念・スローガンにもとづく福祉サービス実施に向けて、長期的な指定管理の受託を願う。

○【総合的な人事管理が行われている。】

職員処遇の水準については、特別養護老人ホームとしての特性等踏まえた管理を検討することも必要と思われる。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回で3回目の受審となりましたが、新たに改善すべき点が見つかり、法人全体の課題として改善に向けた取組が必要です。

今後も、入苑者の方々の「その人らしい生活」を大切にし、質の高い介護サービスの提供、人材育成、地域に開かれた施設運営に努めていきます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）